

■（１４）新聞社内にも「学校」があります！

東京都世田谷区で１４日、見慣れない「せたがや中学生新聞」が発行された。区教委の公募で集まった中学生１５人が、朝日新聞記者の指導を受けながら取り組んだ作品だ。４ページの新聞は本物の工場で印刷し、新聞販売所を通じて区内の家庭や学校に配られた。

新聞記者に「資格」はいらない。取材して記事を書く人は誰でも「記者」を名乗れる。つまり中学生でも記者なのだ。私が入社した約２０年前、記者は今回の中学生同様、いきなり現場に放り込まれ、先輩の指導を受けて学んだ。数カ月は会社宿直室に住み込んだ。

いまは新聞社にも学校ができた。朝日新聞社では「ジャーナリスト学校」と呼ぶ。新人は入社後約１カ月間、指導役の先輩から記者の基礎を学ぶ。その後に現場に配属されてからも定期的に学校に戻り、成長に応じたノウハウを学んだり、新たな知識を得たりする。

今回の中学生たちは記事を書くのに苦労したと新聞の感想欄に寄せている。でもうれしい一言もあった。「ちょっと新聞記者が魅力的に思えました」。勇気づけられます！（山）